

小さな虫歯の修復治療

虫歯で小さな穴があいた場合、虫歯の進行停止と
歯の機能・審美性回復のために**修復治療**を行ないます

レジン充填治療は、レジンという**プラスチック樹脂**で失った歯の機能や形を補修します。他の詰め物の治療とは違い型を取らずに、歯科医師がその場で修復作業を行います。

しかし、レジンを経過とともに変色しますまた、修復後（治療後）は天然の歯に比べ2次的虫歯になり易く、お口のお手入れは十分に行う必要があります。



段差がないかチェックしてみましょう！！

- * 歯の間の場合・・・デンタルフロスが切れたり、ささくれたりしない
- * 歯の根元の場合・・・爪で歯の表面をなぞっても段差がない

詰め物がすぐに外れてしまう場合は、歯の根元にかみ合わせの大きな負担があると考えられます。歯科医師に咬み合わせを調整してもらいましょう。



悪い治療例

明らかに修復したところの色調の不和が見られ、歯とレジンの際に段差があります。詰め物の際に汚れが溜まりやすく、歯ぐきの炎症や虫歯の原因になります。



良い治療例

天然の歯の色と調和しており、段差も見られません。歯茎の炎症もなく適切な良い治療といえます。

奥歯の修復治療の限界



奥歯の治療には咬む力に耐えられる材料を用います。咬み合わせの状態など、場合により歯と同じ色をしたプラスチックの材料を使うことも可能です。奥歯のレジン充填治療を行う場合は、前歯と同様に段差がないように歯の修復治療を行う事に加え、強度的に詰め物が咬む面の1/3を超えない範囲が治療の鉄則です。（詰め物が大きくなると歯がわれやすくなります）